## 2021年ショパン国際ピアノコンクール 第2位およびソナタ最優秀演奏賞





STEINWAY

# アレクサンダー・ガジェヴ

ピアノ・リサイタル

Photography by Jen-Pin LIN © All Rights Reserved 2024

# Alexander Gadjiev Piano Recital

| プログラム (予定) |

©Jen-Pin LIN

2025. 3 9 (日) 15:00 開場 16:00 開演

バロー文化ホール (多治見市文化会館) 大ホール

全席指定 一般 5,000円 U25 4,000円

※未就学児の入場はご遠慮ください

発売日 2024.12.7 (土) ●インターネット7:00~ ●電話 9:00~

- ※ 初日はお一人様4枚までのご購入となります
- ※ 初日の窓口販売は行いません

#### |プレイガイド|

- ●バロー文化ホールチケットONLINE tajimi-bunka.or.jp/bunka/
- ●バロー文化ホール TEL0572-23-2600
- ●イープラス:eplus.jp

ドビュッシー:前奏曲第2巻より

霧/月の光が降り注ぐテラス/水の精/ ピクウィック殿をたたえて/花火

トーマス・アデス:トレースド・オーヴァーヘッド

バルトーク:戸外にて

太鼓と笛で/舟歌/ミュゼット/夜の音楽/狩

シューマン: 暁の歌

ラフマニノフ:ピアノ・ソナタ第2番

#### お問合せ

バロー文化ホール(多治見市文化会館)*TEL0572-23-2600* 〒*507-0039* 多治見市十九田町2-8

●9:00~21:30 火曜休館・祝日を除く ●年末年始休館(12/29~1/3)

### アレクサンダー・ガジェヴ Alexander Gadjiev Piano Recital



音楽と中央ヨーロッパの文化に囲まれた幼少期はガジェヴの歩みを決定づけた。前者は両親がピアノ教師・音楽家であった環境が大きく、後者は生まれ故郷ゴリツィア(イタリア)に由来する。スロベニアとの国境からほど近く、多様な人々・文化・言語がごく自然に交差している街である。これらは、さまざまな音楽様式や音楽言語を貪欲に吸収し、自身に合わせて変化させる天性の能力をそなえたガジェヴに多大な影響をおよぼしてきた。

父に師事し、9歳の時にオーケストラと初共演、10歳で初リサイタルを開いた。17歳で2013年、イタリアの教育機関で最高評価を得た若手だけが競うコンクール「プレミオ・ヴェネツィア」への出場を許され、その覇者となった。その後現在にいたるまで出場するコンクールでほぼすべて優勝。2019年にはBBCニュー・ジェネレーション・アーティストに選ばれ、23年にはイタリアの権威あるアッビアーティ賞と、スロベニアのプレシェーレン賞を受賞。そして2023/24年からUnione Musicaleのアーティスト・イン・レジデンスを、また「ノヴァ・ゴリツィア/ゴリツィア欧州文化首都2025」の文化大使を務める。

これまでにルイージ指揮/RAI国立響、ゲルギエフ指揮/マリインスキー劇場管、メータ指揮/フィレンツェ五月音楽祭管をはじめ、指揮者ではテミルカーノフ、ヴィット、井上道義、高関健、広上淳一、山田和樹らと共演している。今年6月のウィーン楽友協会でのスロベニア・フィルとの共演も大成功に終わった。2024年からは毎年ロンドンのウィグモアホールでリサイタルを行う。音楽祭への参加も多く、ヴェルビエ音楽祭、オールドバラ音楽祭などに参加している。

#### バロー文化ホール (多治見市文化会館) TEL 0572-23-2600

〒507-0039 岐阜県多治見市十九田町2-8 URL https://www.tajimi-bunka.or.jp/bunka/

【鉄道】 JR中央本線多治見駅(名古屋より快速で40分)北口から徒歩12分 改札を出て左折し、北口エスカレータを下りてください。線路を背にして800m直進します。 精華小学校を過ぎ、国道19号線手前の右方面が「バロー文化ホール」です。

【自動車】中央自動車道「多治見」I.C.より約10分/東海環状自動車道「土岐南多治見」I.C.より約15分 駐車台数に限りがございます(200台収容可能)。 満車の場合は、駅北立体駐車場ほか提携駐車場をご利用ください。 公演当日に限り料金割引サービスを実施します。駐車券をバロー文化ホール事務所へご提示ください。

